

## 令和6年度 第2回県立スポーツ施設のあり方検討会 議事要旨

日時：令和6年9月2日（月）13:30～15:30

場所：高知共済会館 3F大ホール 桜

出席：委員8名中6名が出席

出席委員：坂本委員、中城委員、前田委員、町田委員、丸委員、山崎委員

議事：（1）県民体育館の再整備等の基本的な考え方

（2）視察先について

### 1 開会

#### 部長挨拶

本県のスポーツ振興にご理解とご協力賜り感謝する。

パリオリンピックでは本県出身の櫻井選手、清岡選手2名が92年ぶりに金メダルを獲得。さらには先日行われた高知ユナイテッドのホーム戦では約1万1千人の観客が来場し、スポーツが県民に夢と希望を与えている。

あり方検討会においても、注目度は高まることが予想される。本日は、基本的な考え方や視察の素案をまとめたので、限られた時間ではあるが活発な議論をお願いする。

### 2 議事（1）

議事（1）について、資料を使用して事務局が説明。

#### ●丸委員

先ほどの事務局説明に補足する。B.LEAGUE PREMIERに参入するためのライセンス規約に「VIPルームの設置」がある。既存の体育館にこの条件を採用するにはハードルが高いため、どういうVIPルームなのかは改めて確認する必要があり、フリースペースの要素は加味したほうがいい。プロチームの誘致を考えるうえで、ロッカールーム、スタッフルーム、メディアルーム等も重要で、そういったスペースの不足という声はよく聞く話。視察先でも注目していただければ。

#### ○事務局

高知県にはBリーグ所属チームがないのでホームアリーナとしての要素が必要かは議論が必要であるが、将来的にそういう視点を見据えて考えていく必要がある。

#### ●町田委員

競技人口のデータは県内全体を対象としたデータなのか。子どもの数は減っているのに

競技人口は増えており意外な結果だった。

○事務局

屋外競技は減っているが、屋内競技は増えている。特にバドミントン。全体を見ると減っている。

→

●町田委員

このデータは学校内のデータなのか、学校外も含まれるデータなのか。

→

○事務局

学校も含まれている。

→

●町田委員

学校外で取り組む人数を把握できれば、深掘りできると思う。

●坂本委員

防災の機能をどこまで考えるかによって進め方が変わる。それにより視察先においても見るポイントが変わる。視察先は高知県と防災の実情が似ているところが参考になる。

○事務局

理想をいえば、津波発生時安全に避難できる施設を整備することであるが、候補地や周囲の避難施設の状況を含めて考慮していく必要がある。津波を想定した場合、施設の高さをあげることが必須となり、可能かどうかは検討・確認が必要。また、災害時の避難所として、フリースペースの各部屋が機能できるようにしたい。

●山崎委員

資料を見ると、改めて県民体育館の駐車場の少なさは顕著。大会にもよるが複数種目が同時開催するときもあり、スタッフの駐車場は足りても保護者の駐車場が足りないときは結構ある。春野の場合であっても十分でないときがある。今回の再整備において、駐車場のスペースや観客席、コート数等には考慮願いたい。

○事務局

日常使いでいうと、駐車場がないと非常に厳しいという意見が多いので、慎重に検討したい。

今回欠席された委員の方々からの意見として、バスが会場に入ってくることを想定し、単純に車を止めるだけでなく敷地内で旋回することも考慮したスペース確保が重要と

いう意見があった。

●前田委員

確認であるが、この検討会では機能等を議論したうえで、どのタイミングで、現実的にコストや建築分野において可能かどうかを判断するべきか。

○事務局

この検討会においては、候補地や機能・規模を検討するが、第4回までの間に一つの答えを出すことは困難だと認識している。その中で候補地や機能・規模において望ましいと思う項目の整理を議論していき、次のステップの基本計画において、具体的な話に進めていくイメージ。

●中城委員

プールについて月々の利用人数を他の施設と見比べながら、最大の規模を把握し、今後の方向性について議論していきたい。

●前田委員

プールの方向性についても、この検討会の中で議論し基本計画に繋げるイメージでよろしいか。

○事務局

プールも体育館同様のイメージ。

●町田委員

高知ならではの「よさこい」の人口は把握できるか。練習場所の不足などの話も聞く。また、舞踊やダンスの人口も増えていると思う。

○事務局

よさこい参加者がどこで練習している等の調査は難しいと思うが、多くの人に参加していることは間違いない。主要な体育館で利用状況の調査を行いたい。ダンス等については、県も着目しており、女性のニーズが高い。今後さらに注目される予想。競技人口のデータは県スポーツ協会に所属しているチームによるデータ。所属していないチームについては把握できていない状況。

●前田委員

昨年は、高知県のアーバンスポーツの競技人口が多かったデータがあり、ダンスも注目

するポイントの1つ。

●丸委員

プロチームの誘致は、地域ごとの競技団体の意向も関係してくると思われる。高知県の競技団体の現状はいかがか。

○事務局

各競技団体のトップと接する機会が多いが、高知県は、中央競技団体とのつながりも比較的強く、プロチームの誘致においても前向きに捉えている印象がある。

●前田委員

コスト削減において、建設時はもちろんであるが、建設後の施設の収益化も重要な要素。現段階ではあるが、民間との連携をどのように考えているか。

○事務局

現段階では具体的な案はない。視察において、現在計画中の施設に聞き取りを行い、考え方などを参考にし今後の議論に活かしたい。

●前田委員

考慮すべきポイントのコスト削減に加えて「収益化」というワードを追加したらいいのでは。スポーツ庁等の資料で使われている表現も参考になると思う。

●丸委員

基本方針において、「生きがいつくり」と「教育」は相性がいい。民間において集客を考えたときに、子どもをターゲットにしたイベントには保護者も来る。加えて、「子・親・祖父母の3世代がそれぞれ一緒に楽しめる場」という要素は、1つのキーポイントになるのではないかと思う。掛け合わせるイメージ。

●町田委員

高知県で行っている「地域みらい留学」のように都心から高知市内に呼び込むことを想定すると、高知はスポーツや教育に専念できる要素は多いと感じている。また、利用人数を想定していく中で、スポーツのジャンルであったり、年代を分けたりできればより議論も活発になると思う。

○事務局

関連して森戸委員から、「高知らしさ」であったり「日本初の」といった要素を組み込

むことができたなら面白いのではないかと意見を頂いている。

●中城委員

高知市内のファミリー層からは、ファミリーで楽しむ施設が少ないという意見は多い。これは市長も気にしているポイント。都会の要素をすべて真似する必要はないが、自然環境などの高知らしさを活かして、スポーツ施設の中にファミリーでも楽しめるような要素の検討も重要ではないか。

●町田委員

高知は音楽イベントが人気。若者が音楽を練習する場所、音楽に関連するイベントができるスペース等も重要ではないか。昔は屋外で行っていたが、環境も変わり屋内でのスペースも考慮してみるといいのかもしれない。

●前田委員

スポーツに限らず、利用者の調査においては、幅広い競技団体の意見等も次回以降お願いしたい。

## 議事（２）視察先について

資料を使用して事務局が説明。

視察については、基本的に事務局が対応予定。

●丸委員

①佐賀アリーナ

収益化に特化した施設。日常使いというよりプロスポーツが中心。考え方の参考としてスポーツを観ることに加えて、グルメを楽しみながらスポーツを楽しむ。試合の前後をいかに来場者に楽しんでもらうか。おもてなしに力を入れている施設。高知でいうと「ひろめ市場」と掛け合わせるなど、来場者へのおもてなし要素として参考になる。

②神戸の GLION アリーナ

日本で最高峰の音響・エンターテインメント設備がある。民設民営型。

●前田委員

補足ではあるが、スポーツは勝利を求めて行うものであるが、エンターテインメントを考えると、負けたときのホスピタリティとして、試合以外の要素で補うことが重要。子どもたちをはじめ来場者にいかに楽しんでもらえるかを考慮する必要がある。そういう意味で民間がどれくらい参入しているかも視察の注目するポイントである。

●坂本委員

視察先が防災も含めて、高知県が目指すべき姿にどれくらい合致しているかを示すとい  
い。

○事務局

規模についてはほとんどの候補施設が同規模。人口規模と財政規模についてもおおむね  
近い。

●坂本委員

規模に関すると、周辺の自治体施設との兼ね合いも関係していて、単体の自治体の場合、  
そこまで多くの人口はいない自治体もあり、類似施設が遠い前提で考えると対象地は少  
ない。

また、要素を取り入れすぎると視点がぼやけてくるので、視察で重点的に見る部分を明  
確にしておけば、視察地の絞り込みも自然とできると思われる。

●山崎委員

最近の施設は、メインアリーナとサブアリーナの建物が分かれているイメージであるが、  
県民体育館のように1つの建物の中にメインアリーナとサブアリーナが存在するタイ  
プは少ないように思える。全国の傾向はどうか。

●丸委員・前田委員

いろんなスタイルがあり、いわゆる商業型と呼ばれるものには、アリーナの上にマンシ  
ョンがあるとか。

商業施設の上にアリーナというところもある（新潟県）

仙台のゼヴィオドームは数時間でアリーナからアイスホッケー場が変わるというパタ  
ーンであり、全国様々である。

●前田委員

防災の分野において、県の関係機関からの要望や意見、条件等はあるか。

○事務局

具体的な防災の機能について議論はできていないが、新たな施設で防災面をすべてカバ  
ーできないので、周辺の避難施設との兼ね合いも考慮し関係部署と議論を進めていく。

●前田委員

視察を踏まえて、ある程度話が進んできたタイミングで防災の機能をどこまで考慮する

のかという順番がいいのか。

○事務局

視察と並行して議論を進めていく予定。

●町田委員

話が進む中で、ビジョンであったりコンセプトがあるといいと思うが、この検討会でまとめるのか。次のステップなのか。

○事務局

基本方針の中でコンセプトを示していこうと考えているが、検討会の中で各要素の答えを求めるわけではないので、幅広い意見で議論できればと思う。次回の会議では、これまでの議論を踏まえてもう少し具体的な話題に進めたらと考えている。

●丸委員

候補地はパターンとして、①県民体育館の既存地、②旧県立南中・高等学校、③①と②の両方使用、という3つのパターンというイメージでいいか。

○事務局

候補地については、おっしゃるとおり3パターンである。

●前田委員

コンセプトを考えるうえで、県民の意見をどこまで取り込むか。大きなプロジェクトは町全体の意識が変わったり、これまでできなかったことができるようになるきっかけとなり、単なる施設の再整備だけではなく、まちづくりとして県民の意識を変えていくためにもなる。県民の意見を聞くタイミングや聞く内容はどのように考えているか。

○事務局

具体的に確定しているわけではないが、まずは利用者や関係者の意見を把握することを次回の会議までに整理したい。範囲やタイミングにおいては内部で議論していく。

●山崎委員

前回、多目的グラウンドの話あげたが、検討会の中で意見を頂ければ。資料においても多目的グラウンド資料があるとわかりやすいのでは。

○事務局

前回、多目的グラウンドについての意見があり、この検討会の中で議論することの了解を頂いたところ。今回は大部分が県民体育館の資料であるが、今回は多目的グラウンドに関するデータもお示しできたらと思う。

●中城委員

多目的グラウンドができた場合には、高知ユナイテッドの練習会場としての視野もあるのか。

○事務局

基本的には現状がコート不足やニーズに対応しきれていない等の理由があり、ユナイテッド以外を想定している。ユナイテッドについても施設整備を含めて可能な範囲で支援できればと考えている。

### 3 閉会